

近年、多くの外国人が日本を訪れるようになり、定住して働き地域社会で暮らす外国出身者も増加しつつあります。日本社会は「多文化共生」をめざして様々な変革に取り組んできましたが、それは実際どの程度達成されたのでしょうか。

今回、マリ共和国出身の京都精華大学のウスビ・サコ学長を講師に招き、ご自身が日本で生活する中で出会った様々な疑問を基に異文化コミュニケーションや教育のあり方について解説していただきます。日本社会独自の「空気を読む」行為や集団を大切にする傾向などにも触れ、多様な視点からこれからの「多文化共生」を考える機会としたいと思います。

講師紹介



ウスビ・サコ／京都精華大学学長

1966年、マリ共和国の首都バマコで生まれる。91年、留学のために来日し、京都大学大学院で建築計画を学ぶ。2001年に京都精華大学人文学部講師に着任。「空間人類学」をテーマに、国や地域によって異なる環境やコミュニティと空間のリアルな関係を研究。2018年4月、同大学学長に就任。学生とともに京都のコミュニティの変容を調査し、マリ共和国の共同住宅のライフスタイルを探るなど、暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認めあう社会のありかたを提唱している。

申込方法

電話またはEメールにてお申込み下さい。

お申込み先： 東京都人権プラザ
電話 03-6722-0123
E-MAIL fukyu3103@tokyo-jinken.or.jp

申込締切
2月8日(火)

参加方法について



Eメール申し込み用
QRコード

①～④の各項目についてお知らせください。

① 代表者名

② 参加人数

③ 電話番号

④ 連絡用 メールアドレス

- ・ 講座開催前日までに、招待 URL をメールにてお送りします。
- ・ Wi-Fi 環境でのご参加を推奨します。携帯電話回線をご利用の場合、通信容量の事前確認をお願いいたします。
- ・ 通信に係る費用は参加者負担となりますので、ご了承ください。
- ・ 講座の録音録画、チャットでの誹謗中傷、参加者の個人情報等の公開は固く禁止いたします。発見した場合は直ちに退場いただきます。
- ・ 情報保障については、お問合せください。